

小学生バレー  
上位を独占

ファミリーマートカップ第37回全日本バレーボール小学生大会の沖縄県大会が6月24日と25日に豊見城市で行われ、男子の部で西原クラブが優勝、女子の部で西原南クラブが準優勝、男女混合の部で西原東クラブが準優勝と上位を独占しました。



西原クラブ



西原南クラブ



西原東クラブ

ママさんバレー  
2部で初優勝

おきぎんカトレアカップ第43回九州ママさんバレーボール優勝大会沖縄県予選大会が6月17日と18日に行われ、美寿クラブが2部(35歳以上の部)において全試合ストレート勝ちで、初優勝を飾りました。同クラブは昭和63年設立の歴史あるチームで、現在20名のメンバーが所属しています。



西原高校バレー部  
男女ともに全国へ

沖縄県高等学校総合体育大会において、西原高校の男子バレー部が8連覇(23回目)、女子バレー部が9連覇(9回目)を達成し、全国大会(7月28日開催)への出場を決めました。男子バレー部の宮城元主将は「ベスト8を目指して、練習の成果を発揮できるようがんばります」と、女子バレー部の田之上蓮華主将は「恵まれた環境や支えに感謝して、一戦ずつ臨んでいきます」と意気込みを語りました。



沖縄森永乳業との  
包括協定

西原町(上間町長)と沖縄森永乳業(株)(知念良明代表取締役社長)との「西原町事業への協力に関する包括協定書締結式」が、6月15日に西原町役場で行われました。

協定により、同社は町の児童生徒の育成を目的としたスポーツ振興に関する取組やSNS上活動への飲物提供などを行います。知念社長は「東崎に工場を構えてから西原町に貢献したいと考えています。協定締結を嬉しく思います」と述べました。



さわりと  
誕生日  
おめでとう

西原町の観光キャラクター「さわりん」の誕生会が7月1日に、西原東児童館でありました。アニメの声優などで活躍する「やびくかりん」さんが司会を務め、たくさんの子どもたちが祝いました。さわりんダンスを踊ったり、さわりんのお面を作ったり、子どもたちとさわりんがプレゼント交換をしたりなど、誕生会はとても盛り上がりしました。



みんなでお祝いしたよ



おいしそう



文化財  
西原の川

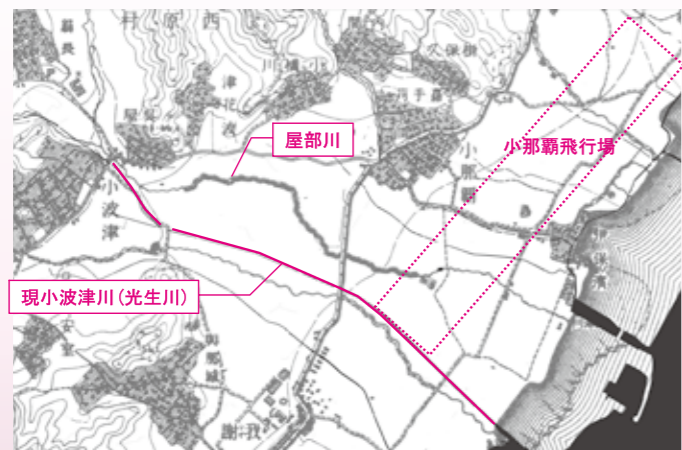
去る六月一九日に大雨に見舞われた西原町では、小波津川の水があふれ、道路が冠水するなどの水害が起こったことは、みなさんの記憶に新しいかと思えます。

小波津川はこれまでの歴史をみても氾濫をくり返し、幾度となく改修されてきました。小波津川は一七四一年の改修に始まり、その翌年にも改修が行われています。当時の小波津川は「屋部川」と称されていました。

そのころ首里王府は、時の三司官・蔡温が中心となり一大国家プロジェクトとして沖縄本島各地の河川改修を行っています。氾濫をくり返し、農地を破壊していた川を埋め立て、新たな川を開削するという、利水と治水がその目的でした。つまり、川の氾濫をおさめることは、王府の年貢となる農作物の保護につながっていたわけですね。小波津川は当時、二度の改修が行われましたが、川底が周囲の農地より高かったと推測され、改修後も氾濫に悩まされてきたようです。

一九三〇年代には川の流れを直線に変え、新たに河口の位置もつけかえる大改修工事が行われました。当時村長をつとめた宮平光清の名を取って「光生川」とも呼ばれ、現在の小波津川の姿へと変わったのです。

沖繩戦のさなかには日本軍が、戦後は米軍



▲大日本帝国陸軍参謀本部陸地測量部作成地形図(1921年/国土地理院所蔵)に現在の河川を重ねた図 大正時代まで曲線を描いていた屋部川は埋められ、現在のまっすぐな小波津川がつけられました

お問い合わせ 西原町教育部生涯学習課 文化財係 ☎944-4998